慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	西村享教授主要著作目録
Sub Title	List of main publications
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1989
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.55, (1989. 3) ,p.vii- xiv
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	西村享教授退任記念論文集
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00550001--004

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

西村　亨教授　主要著作目録

一　著書

歌と民俗学　昭41・7　岩崎美術社（民俗民芸双書6）

▽所収論文初出

歌の霊験　昭34・7　折口博士記念会紀要1

風俗歌から歌枕へ　昭35・2　民俗文学講座Ⅳ古代文芸と民俗（弘文堂）

賀の歌の成立（書き下ろし）

恋から見た恋歌　昭39・2　芸文研究17

作者と伝承者と　昭35・3　民俗文学講座Ⅴ中世文芸と民俗（弘文堂）

源氏物語における「いろごのみ」の概念　昭33・10　芸文研究8

王朝びとの四季　昭47・7　三彩社、昭54・12　講談社（学術文庫）

王朝恋詞の研究　昭47・12　慶応義塾大学言語文化研究所

▽いろごのみ事典（昭37・7～41・11　芸能）を再編

旅と旅びと　昭52・1　実業之日本社（有楽選書）

国文学古典研究Ⅲ――古代和歌概説――　昭52・7　慶応通信社（慶応義塾大学通信教育教材）

新考王朝恋詞の研究　昭56・1　桜楓社

▽『王朝恋詞の研究』に「恋の文学形成に関する考察」を付載。学位論文。

折口名彙と折口学　昭60・9　桜楓社

▽所収論文初出

折口信夫名彙解説　昭52・6　国文学

折口名彙と言うべきもの　昭49・6　現代詩手帖臨時増刊

折口名彙としての「いろごのみ」昭60・7　日本の美学5

貴種流離譚とその周辺　昭60・5　文学・語学105

折口信夫と短歌史　昭49・11『世々の歌びと』(角川文庫)解説

折口学説と史的叙述　昭53・11　国学院雑誌

民俗学と古代学　昭54・8　日本民俗学123

理想の中の天皇制　昭55・12　信州白樺40

柳田国男と折口信夫　昭58・9　国文学論叢新集5折口信夫まれびと論研究(桜楓社)

歌物語要素とその投影　昭59・12　古代文学論叢9源氏物語と歌物語　研究と資料(武蔵野書院)

研究ノート古代生活と水の信仰　昭52・12　慶応義塾大学言語文化研究所紀要9

折口信夫全集ノート編・編集余話

折口信夫の山田孝雄観　昭46・3、4　芸能

春洋さんの古今集ノート　昭46・5　芸能

二　編著

柳田国男方言文庫目録　昭39・7　慶応義塾大学言語文化研究所

折口信夫全集ノート編14源氏物語1　昭45・11　中央公論社
折口信夫全集ノート編12古今和歌集　昭46・2　中央公論社
折口信夫全集ノート編15源氏物語2　昭46・7　中央公論社
折口信夫全集ノート編別巻総索引　昭49・2　中央公論社
池田弥三郎著作集1古代および古代学　昭54・7　角川書店
池田弥三郎著作集4文学伝承論　昭55・2　角川書店
池田弥三郎人と学問(共編著)　昭59・7　慶応義塾(三田文学ライブラリー)

▽基底となった民俗学

折口信夫必携(共編著)　昭62・4　学燈社(別冊国文学)
折口信夫全集ノート編追補3近代文学論(うち「初期民俗学研究の回顧」)　昭62・12　中央公論社
折口信夫全集ノート編追補4源氏物語3　昭63・1　中央公論社
折口信夫全集ノート編追補5新古今和歌集　昭63・2　中央公論社
文芸とことば遊び　昭63・5　日本語百科大事典XVI(大修館書店)
折口信夫事典　昭63・7　大修館書店

三　論　文

奥州の番楽(共同執筆)　昭32・10　芸能復興
万太郎戯曲の論　昭39・12　久保田万太郎回想(中央公論社)

万太郎戯曲の世界　昭42・3　三田評論
古代のうたごころ　昭42・5　日本文学の歴史1神と神を祭る者（角川書店）
御落胤を頂載する話　昭42・9　三色旗
古代丹波（たには）の研究――宮廷信仰と地方信仰と――　昭45・2　慶応義塾大学言語文化研究所紀要1
水をくぐる役々　昭45・7　演劇界
先行文芸と長唄詞章　昭45・10　邦楽大系9長唄I（筑摩書房）
船のあそび考――古代鎮魂に関する一考察――　昭46・2　慶応義塾大学言語文化研究所紀要2
鳥のあそび考――古代鎮魂の一考察――　昭47・2　芸文研究31
満月と怪異　昭47・4　塾
阿漕が浦の文学　昭47・9　説話文学研究7
「のさことば」の系譜　昭47・10　三田評論
日本人と〝風雅〟――歌枕序説――　昭49・2　三色旗
民間生活における「かぐら」　昭50・5　鑑賞日本古典文学4歌謡I（角川書店）
共同研究「山家鳥虫歌」　昭50・7～55・8　芸能
民話における勧善懲悪の眼　昭50・11　国文学解釈と鑑賞
小町をめぐる男たち　昭51・2　演劇界
芸能の発生　昭51・10　日本民俗学の視点1（日本書籍）

末流のうた　昭51・10　日本語講座2ことばの遊びと芸術（大修館書店）
『百人一首』の謎　昭52・1　三田評論
知識の器としての「うた」（末流のうた1）　昭54・1　短歌
「うた」と「ことわざ」の交渉（末流のうた2）　昭54・2　短歌
贈答および挨拶の「うた」（末流のうた3）　昭54・3　短歌
日本の文字　昭54・3　慶応通信社（慶応義塾大学通信教育教材『国語科教育法』）
辞世の「うた」とその周辺（末流のうた4）　昭54・4　短歌
託宣の「うた」から落首まで（末流のうた5）　昭54・5　短歌
神仏感応の「うた」（末流のうた6）　昭54・6　短歌
呪歌の本末（末流のうた7）　昭54・7　短歌
民衆の文学（末流のうた8）　昭54・8　短歌
変らぬ嗜好（末流のうた9）　昭54・9　短歌
夕暮の感傷（末流のうた10）　昭54・10　短歌
教養の根源（末流のうた11）　昭54・11　短歌
七五調の魅力（末流のうた12）　昭54・12　短歌
朝顔の宮追従に発して――源氏物語成立に関する一考察――　昭55・4　国文学論叢新集1王朝の歌と物語（桜楓社）
折口学とことば　昭55・5　泉28

美しい妖怪たち　昭55・11　泉30
季節のことば「あき」　昭56・4　言語生活
伊勢物語・「昔男」のいろごのみ　昭56・4　国文学
古今集の成立と歌枕　昭57・1　鑑賞日本の古典3古今和歌集・王朝秀歌選(尚学図書)月報
古事記・日本紀の「なぞなぞ」　昭57・2　言語
絵になる場面——物語の方法に関与して——　昭57・7　むらさき19
天人女房譚の示唆するもの　昭57・9　稲・舟・祭(松本信広先生追悼論文集)
水と地名　昭58・1　歴史公論
伊勢物語と「いろごのみ」　昭58・3　一冊の講座伊勢物語(有精堂)
日本本土のなぞなぞ・日本古典のなぞなぞ　昭59・6　世界なぞなぞ大事典(大修館書店)
七五調の根源　昭59・7　金田一春彦博士古稀記念論文集3文学芸能編
替え歌の論理　昭60・3　大東学園専門学校紀要1
「悪態」の考察——言語表現の芸能化をめぐって——　昭61・7　芸文研究49
文学における地名——古代国文学の周辺——　昭61・9　三色旗
折口学のキイ・ワード〈体系の核となる「折口名彙」〉　昭62・1　言語
折口信夫の古代　昭62・2　三田評論
幼神信仰と貴種流離譚——梅若縁起研究の序に代えて——　昭63・1　国文学論叢新集8梅若縁起の研究と資料(桜

楓社）

光源氏の末裔たち　昭63・5（以下連載中）　谷崎潤一郎訳源氏物語解説（中公カセットライブラリー）

大嘗祭と神楽　昭63・7　新嘗の研究3稲作と信仰（学生社）